

➤ 近赤外線データによる解析

近赤外線の反射データを 可視光の色(RGB)に置き換えた 擬似カラー画像データ

近赤外画像の成分 可視光画像での表示色

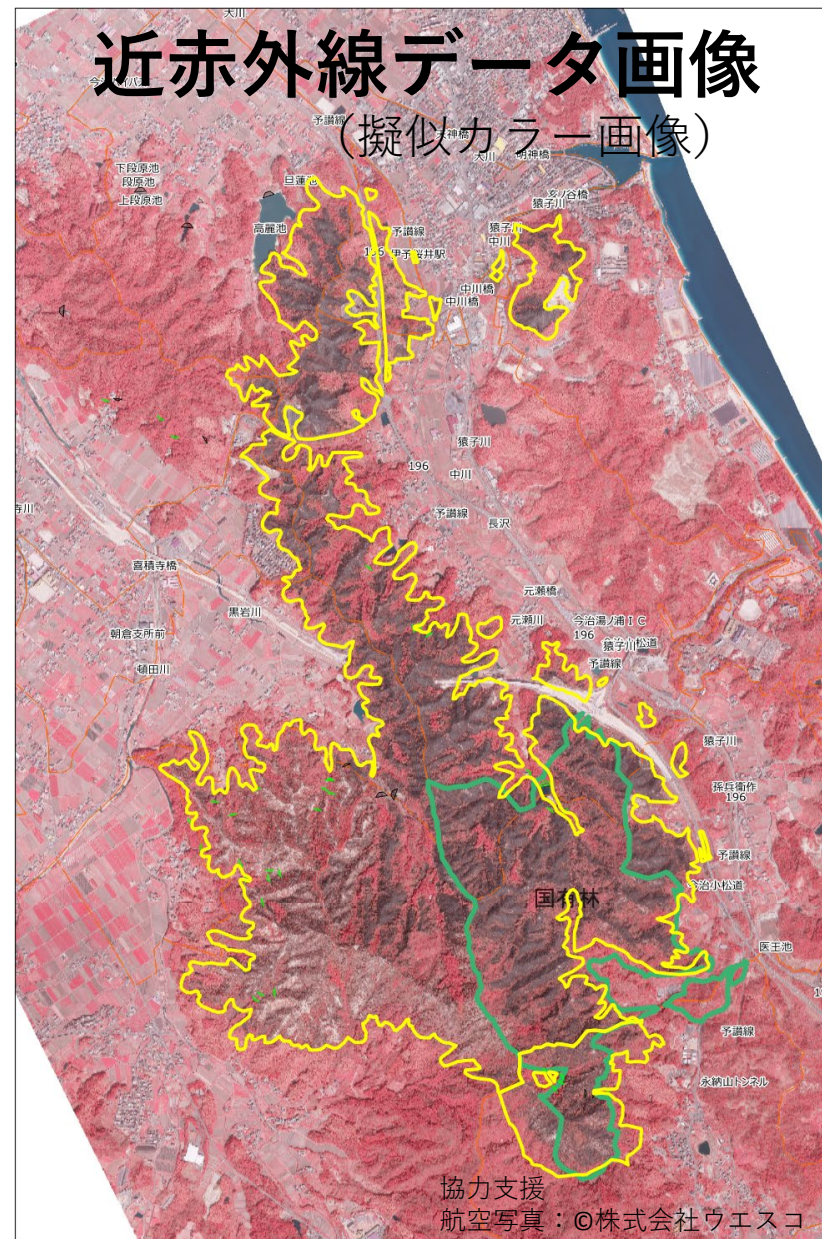
近赤外線 (NIR)  赤 (Red)

赤 (Red)  緑 (Green)

緑 (Green)  青 (Blue)

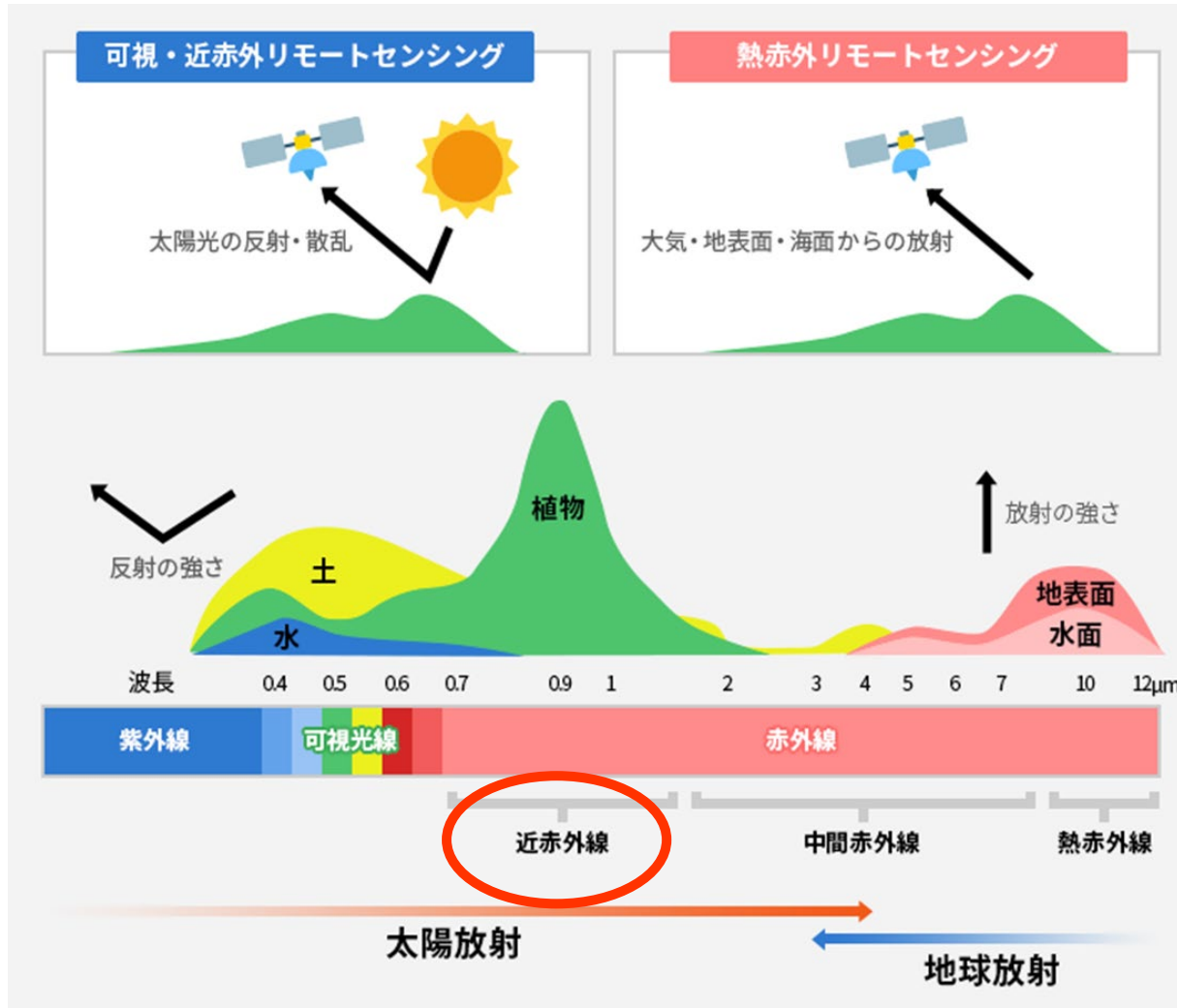


なお、赤外線写真は近赤外線と若干の可視光線が撮影される。



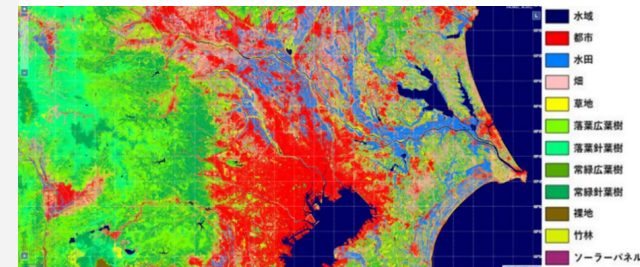
(3) 近赤外線データを活用した焼損度合の区分方法について

➤ 近赤外線特性



リモートセンシングとは、遠く離れたところから、対象物に触れずに対象物の形や性質を測定する技術

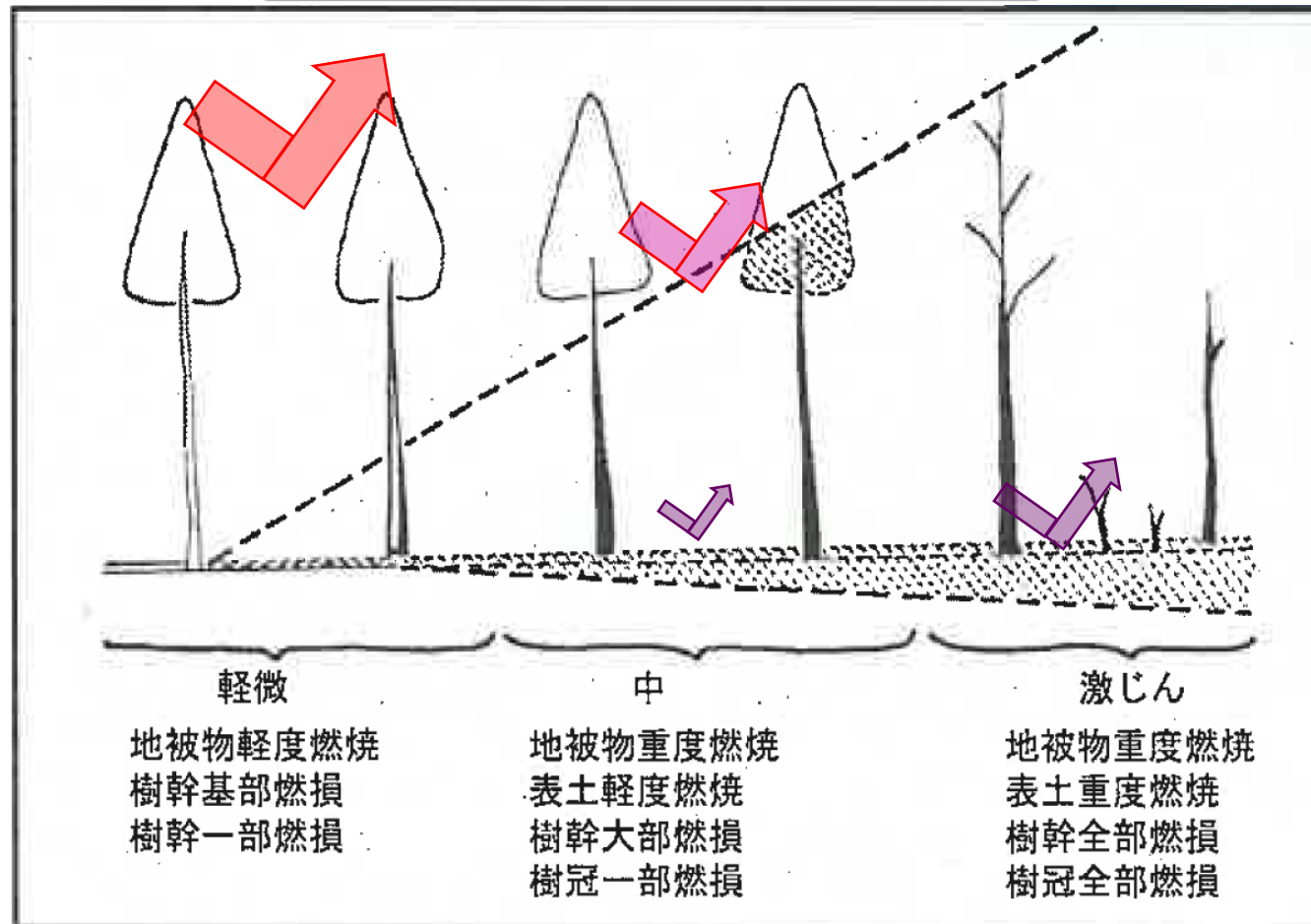
可視光・**近赤外**の波長帯の光は、太陽光（「太陽放射」）に多く含まれ、可視光・近赤外は**地表面の状態**（植物か土か水か等）によって、**強く反射される電磁波の波長が変化する**ので、この特性を利用する。



(3) 近赤外線データを活用した焼損度合の区分方法について

➤ 画像解析による被災強度判定基準

(参考) 被災強度判定基準



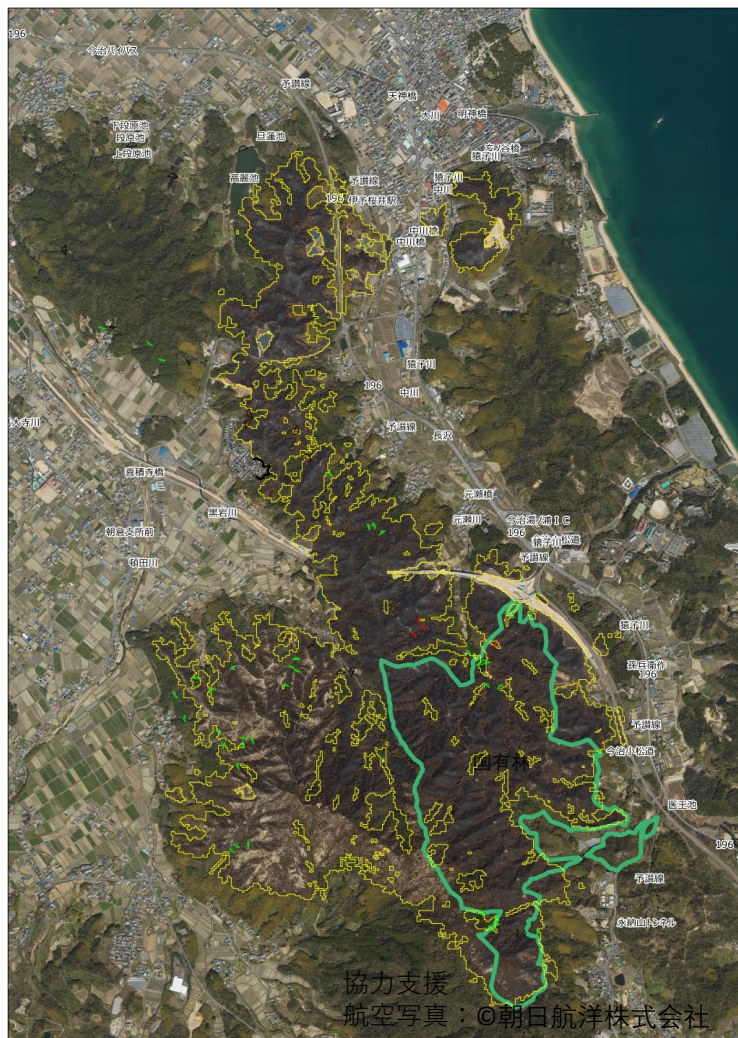
近赤外バンド値による
機械的な分類

□	激じん 相当 ⇒	大
□	中 相当 ⇒	中
□	軽微 相当 ⇒	小

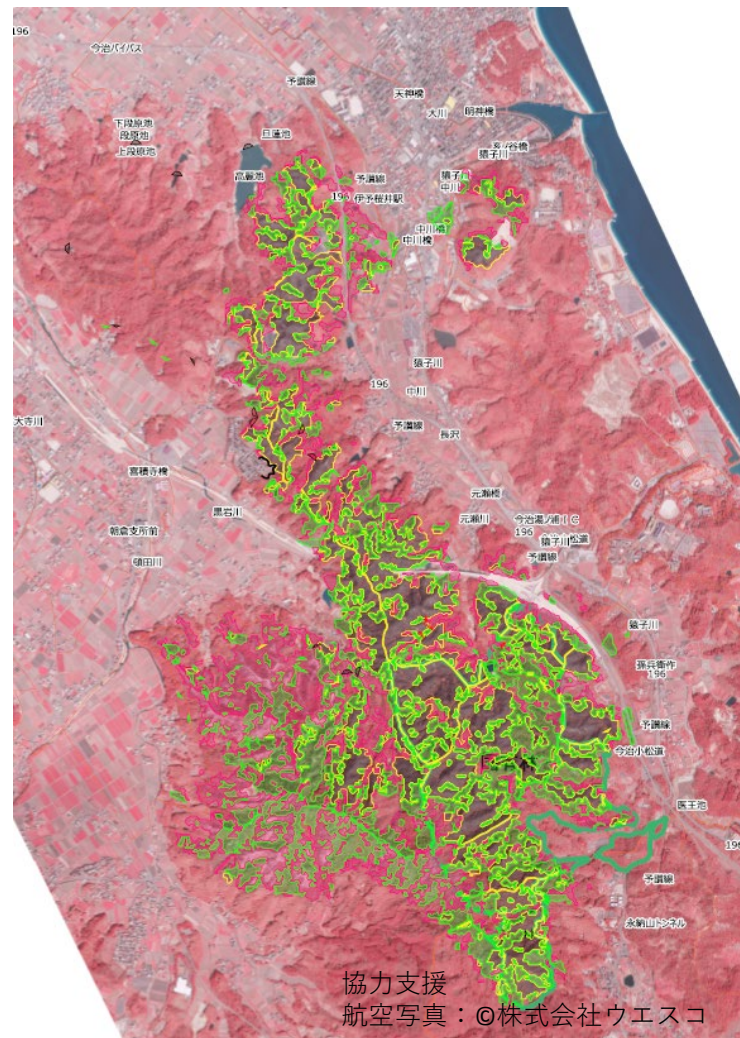
出典: 「林野火災が地表流下,浸透および土砂流出に及ぼす影響」

(3) 近赤外線データを活用した焼損度合の区分方法について

➤ データ解析結果画像



10mメッシュ被災区域画像



被災強度別（3区分）画像※検証中